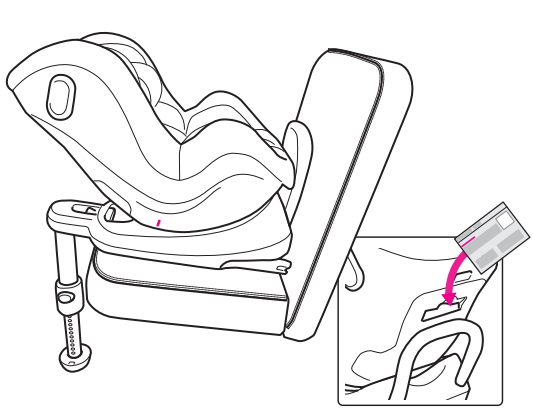


はじめにお読みください

このたびは、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。安全のため、ご使用前には必ず本書をお読みの上、記載された内容にしたがって正しくお使いください。  
チャイルドシートは、交通事故などの際にお子さまの傷害を軽減することを目的としており、必ずしも事故からお子さまを無傷で守るものではありません。  
この取扱説明書は、取扱説明書ポケットに入れて大切に保管し、必要に応じてお読みください。



i-Size(アイサイズ)チャイルドシート  
型式/TYPE : 2101A  
規則/Regulation : UN R129/01  
サイズ範囲/Size Range :  
身長 45cmから105cm以下  
体重 19kg以下

リーマン株式会社 www.leaman.co.jp  
〒496-0911 愛知県豊田市西保町南川原68-1  
お客様相談室 TEL. (0567) 27-0173  
受付時間 月曜日～金曜日(休日・弊社指定休日は除きます)  
AM10:00-12:00 PM1:00-5:00

※2つ折りで入れてください。

Q10

表示マーク

この取扱説明書では、安全にご使用していただくため、特に守っていただきたいことなど次のマークで表示しています。いずれも安全に関する内容ですので、必ず守ってください。

- 警告** 記載内容を守らないと生命の危機または、重大な傷害につながるおそれがあります。
- 注意** 記載内容を守らないと傷害または事故につながるおそれがあります。
- 禁止** 図示されている内容の禁止を示しています。
- 確認** 安全のため、必ず確認していただきたいこと。
- アドバイス** より安全、快適にご使用いただく上で知っておいていただきたいこと。
- うまいかない時は...** うまく作動しない時などに役立つ補足説明がまとめてあります。ご参照ください。

クイックガイド/目次

本製品の扱い方を ▲ → ● → ▼ → □ → ◇ の順で表示してあります。

- 事前準備**
  - 1 i-Size(アイサイズ)とは
  - 2 ISOFIXとは
  - 3 適合の確認
  - 4 作業スペースの確保
  - 5 各部名称
- お車に取付ける**
  - 6 使用条件の確認
  - 7 リクライニングのしかた
  - 8 シートの回転のしかた
  - 9 ご使用上の警告/注意
- 幼児ベルトの調整**
  - 1 サポートレッグを起こす
  - 2 ISOFIXコネクタを差し込む
  - 3 サポートレッグを調節する
  - 4 取付けを確認する
  - 5 お車から取りはずす
  - 6 オプション(キャノピー)の使用法
- お子さまの乗せ降ろし**
  - 1 乗せる準備をする
  - 2 お子さまを座らせる
  - 3 お子さまを拘束する
  - 4 拘束ポイントを確認する
  - 5 お子さまを降ろす
- メンテナンス**
  - 1 カバーを取りはずす
  - 2 カバーを取り付ける
  - 3 洗濯と日常のお手入れ
  - 4 保管/廃棄の仕方/製品仕様

事前準備

1 R129(i-Size/アイサイズ)とは

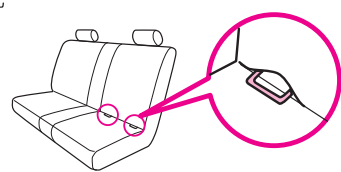
i-Sizeとは、お客様が簡単に確実に取り付けることができるISOFIX固定方式を用いたチャイルドシートのカテゴリです。  
i-Sizeチャイルドシートでは、精度の高いダミーの使用や、側面衝突への対応などこれまで以上に厳しき規則に基づいて設計・製造されています。  
またi-Sizeチャイルドシートでは、お子さまの成長にあわせて性能を発揮する為に、お子さまの身長にあわせた使用方法とし、**生後15ヶ月までは後向きでの使用が義務付けられています。**



i-Size表示

2 ISOFIXとは

ISOFIX(アイソフィックス)とは、国際標準化機構によって定められた車両のシートにチャイルドシートを固定する方式で、車両シートに設置されたISOFIX取付け金具を使います。本製品は、i-Size適合の車両だけでなく、ISOFIX表記のある車両に使用することが出来ます。



ISOFIX表示

3 適合の確認

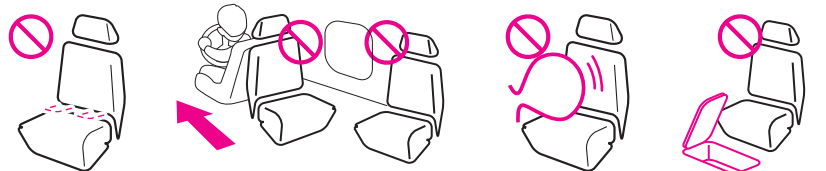
- 本製品は、i-Size(アイサイズ)幼児用拘束装置です。
- 本製品は、車両メーカーの取扱説明書によって示されるアイサイズ適合車両の着座位置で主に使用するものとしてUN規則No.129(UN R129/01)に基づいて認可されています。
- 本製品は、お子さまの身長に対し、下表のISOFIXチャイルドシートに対応した車両に取り付けることができますが、ISOFIX取付け金具を装備したすべての車両に取り付けられるものではありません。弊社の車両適合表及び、車両メーカーの取扱説明書をご確認下さい。

お子さまの身長	取り付け可能なサイズ等級	固定具
45~87cmまで	D	ISO/R2
76~105cmまで	B1	ISO/F2X

適合が不明な場合は、購入店、取扱代理店またはメーカーまでご連絡ください。

取付けできないシート

- ISOFIX取付け金具が装備されていないシート。
- 横向き、後向きになっているシート。(衝突の際にショックを吸収できません。)
- チャイルドシートを取付けると運転操作の妨げや、視界の妨げになるシート。
- 前方にエアバックが装備されているシート。(サイドエアバッグのみの場合は使用できます。)
- 助手席には取り付けしないでください。
- 足下に床下収納ボックスが装備されているシート。
- 極端なバケットシート等、しっかりと固定ができないシート。

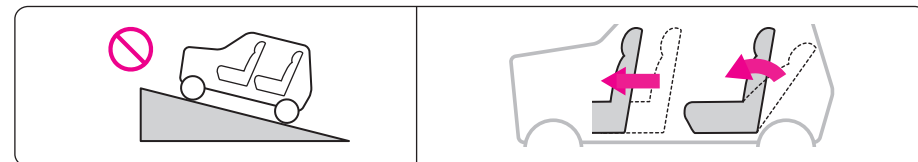


シートベルトでは絶対に取付けしないでください。衝突時などに本来の性能を発揮できず、重大な傷害を負う可能性があります。

4 作業スペースの確保

安全に取付け作業をおこなうため、次のように作業スペースを確保してください。

- 取付け作業は、ドアの全開閉操作が可能な、平坦な場所でおこなってください。
- 車内の作業スペースを確保するため、前座席を前に倒したり、できるだけ前にスライドさせてから取付けてください。
- 車両座席がリクライニングで倒れている場合は、標準の位置、または車両の取扱説明書で指示されている位置に戻してください。



9 ご使用上の警告/注意

記載内容を守らないと、生命の危機または、重大な傷害につながるおそれがあります。

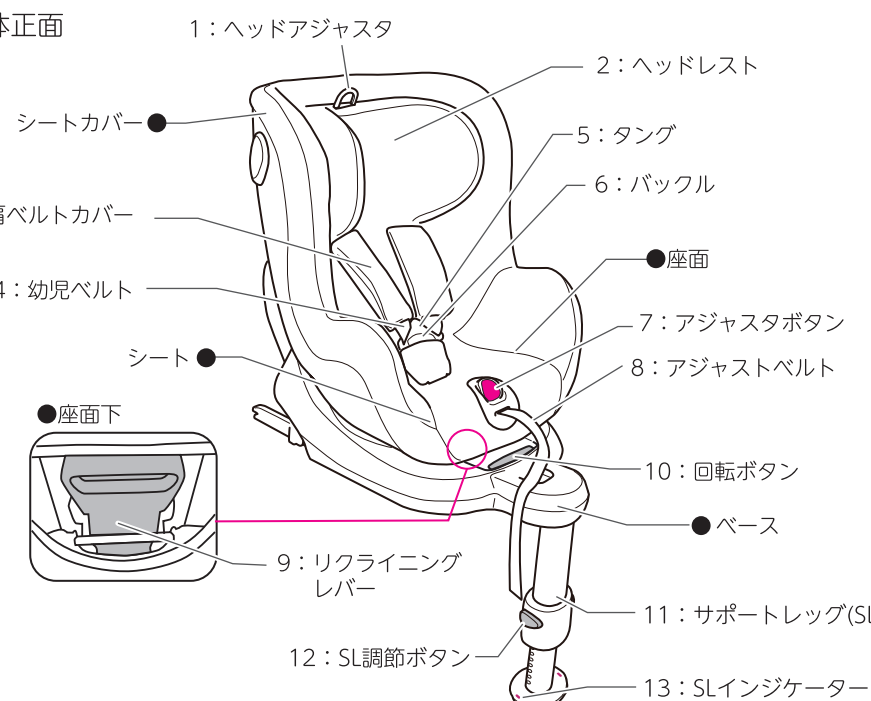
- 本製品は取扱説明書どおりに固定してください。
- お子さまの不特定な行動により、ベルトが首に巻きつくおそれがあるため、必ず保護者が同乗し、使用してください。
- 腰ベルトで骨盤がしっかりと拘束されるように、必ず腰ベルトを低く下げて着用させてください。
- 座席の形状などにより、取扱説明書どおりに固定できないときは、他の座席に取り付けてください。
- 本製品のバックルをはずしたままでの使用は危険ですので絶対にしないでください。
- 後部座席に人が乗る場合の2ドア・3ドア車の助手席や、1BOX車やミニバンのセカンドシート乗降口側には、緊急時の脱出口確保のため、取付けしないでください。
- お子さまが、バックルの赤いボタンを押さないように注意してください。ときどきタンクがバックルからはずれないことを確認してください。
- 事故の衝撃や製品の落下など一度でも衝撃を受けた本製品は、外観に破損がなくても絶対に使用せず交換してください。
- 本製品の布製のカバーで覆われていない部分や金属部は、直射日光により高温になる可能性があります。お子さまがやけどをしないよう、直射日光を避け各部が高温でないことを確認してからご使用してください。
- 本製品を改造したり、カバー類・クッション類を取りはずして使用しないでください。
- シートカバーをはずしての使用、または専用カバー以外での使用はしないでください。(衝突時の安全性能に影響を与えるおそれがあります。)
- 車の座席にクッションや座布団を敷いたまま、取付けしないでください。しっかりと固定されません。
- お子さまを車内にひとりで放置することは絶対にしないでください。
- 運転中に本製品の操作(回転・ベルト調節・角度調節などの操作)をしないでください。
- 新生児(生後1ヶ月未満)にお使いいただく場合は、運転者以外に同乗者が乗り、目をなさないでください。
- お子さまの負担を考慮し1時間以上連続して使用しないでください。
- エアバッグ装備の座席には使用しないでください。衝突時、エアバッグの作動により強い衝撃を受け危険です。
- 走行中にリクライニング、シートの回転、ヘッドレストの調整はしないでください。

5 各部名称

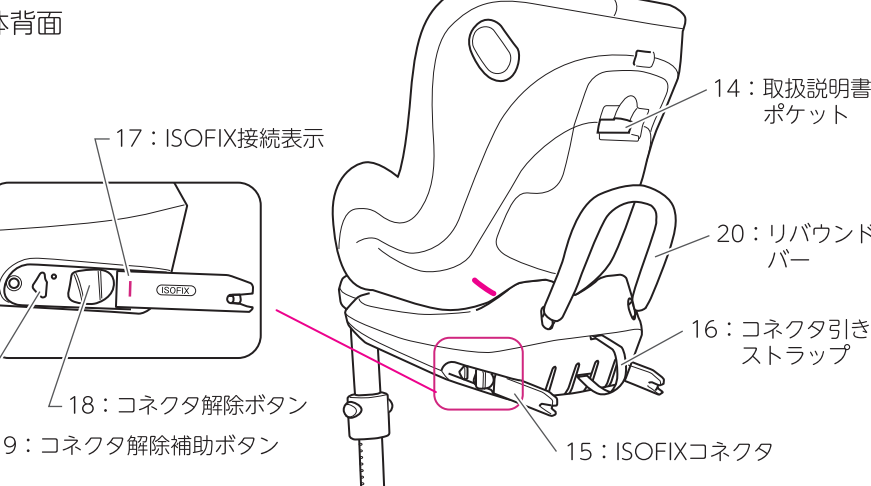
ご使用前に、各部品がそろっていることをお確かめください。

※使用方法などをわかりやすく説明するために、この取扱説明書で使用するイラストは、実際と異なる場合があります。また、製品性能向上のため予告なく仕様変更することがあります。

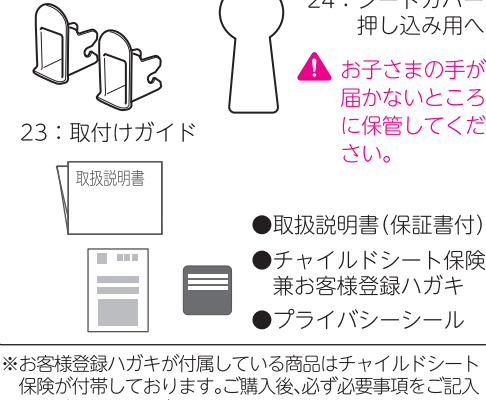
●本体正面



●本体背面



付属品



6 使用条件の確認

お子さまの身長に合わせ、「後向き」と「前向き」の2つの取付け向きで使用します。

- 下記の条件を満たさない使用は、絶対にしないでください。
- お子さまの月齢が15ヶ月までは後向きで使用してください。

身長 45~87cm  
月齢が15ヶ月までは後向きで使用してください。

**後向き取付け**

体重 6kg

※先にウエストパッドをチャイルドシートに置いてからその上にインナーパッドを置いてください。

※ヘッドクッションはお子さまの成長に合わせてご使用ください。

身長 76~105cm  
体重 19kg以下  
月齢が15ヶ月までは身長が76cmを超えても後向きで使用してください。

**前向き取付け**

体重 6kg

●横向きの状態では走行しないでください。横向きでは、本来の機能を果たさず危険です。(お子さまの乗せ降ろしの際のみ横向きで使用してください。)

7 リクライニングのしかた

「前向き」の時のみ4段階の調節が可能です。「後向き」使用時はリクライニングできません。(ポジション4にてご使用下さい。)

A シートの前方下にある[9:リクライニングレバー]を引きながら、シートのリクライニング角度を調節する。(前向き4段階/後向き1段階)

B レバーから指を離してシートをリクライニング方向にゆすり、ロックされていることを確認する。

本製品のシートが車両ヘッドレストにぶつかってリクライニング操作ができない場合があります。

- 無理に操作すると故障の原因になります。車両ヘッドレストが取りはずせる場合は、取りはずしてご使用ください。
- 車両ヘッドレストをはずしても操作できない場合、その座席では使用しないでください。※ぶつかっていても無理なく操作できる場合は、その座席でもお使いいただけます。

- ベース背面やシートの背面、[9:リクライニングレバー]の下のすき間に指や手などをいれたまま、リクライニング操作をしないでください。
- お子さまを乗せた状態のときは、ゆっくりとリクライニングさせてください。お子さまの手足が本体などにぶつからないよう、また、ベースとシートの間などにはさまれないようご注意ください。
- 「後向き」使用時、お子さまの足がベース後ろにある[20:リバンドバー]に入った状態でリクライニング操作をしないでください。

8 シートの回転のしかた

お子さまの乗せ降ろしをしやすいするため、シートを回転させることができます。

A リクライニングポジションを4にする。

B ベース前方にある[10:回転ボタン]を押しながら、シートをまわす。動き始めたら回転ボタンから指を離し、「カチッ」と音がしてロックするまでまわす。シートは「後向き」「横向き」「前向き」の位置で固定されます。走行中は使用条件にあわせた向き(後向き、前向き)でご使用ください。

C シートを回転方向にゆすり、シートが固定されたことを確認する。

- 横向きの状態では走行しないでください。
- 本製品のシートが車両ヘッドレストにぶつかって回転操作ができない場合があります。
- 無理に操作すると故障の原因になります。車両ヘッドレストが取りはずせる場合は、取りはずしてご使用ください。
- 車両ヘッドレストをはずしても操作できない場合、その座席では使用しないでください。※ぶつかっていても無理なく操作できる場合は、その座席でもお使いいただけます。
- 本製品のシートが車両ヘッドレストにぶつかって回転操作ができない場合があります。
- 本製品のシートを横向きにしたまま走行しないでください。横向きでは、本来の機能を果たさず危険です。(お子さまの乗せ降ろしの際のみ横向きでご使用ください。)

●シートを回転する時は、[8:アジャストベルト]がチャイルドシートや車両シートベルト等に挟まらないようにしてください。

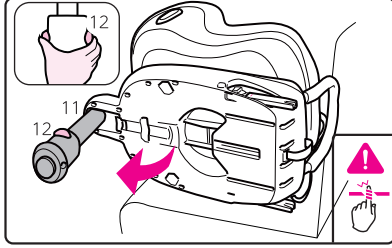
- ベース背面やシートの背面、[9:リクライニングレバー]の下のすき間に指や手などをいれたまま、回転操作をしないでください。
- お子さまを乗せた状態のときは、ゆっくりと回転させ、お子さまの手足が本体などにぶつからないよう、また、ベースとシートの間などにはさまれないようご注意ください。
- 「後向き」使用時、お子さまの足がベース後ろにある[20:リバンドバー]に挟まった状態で回転操作をしないでください。
- チャイルドシートの背もたれを開けたドア側に回転させないでください。ドアを閉めた際に背もたれとドアがぶつかって製品やお車の故障の原因になる場合があります。





### 1 サポートレッグを起こす

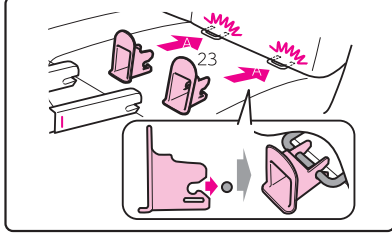
- A 作業するスペースを十分に確保し本体を横に寝かせる  
B [11: サポートレッグ] を起こす。  
[12: SL 調節ボタン] を押しながら先端部を縮める方向に押し込むと本体から離れ、フリーになります。  
[12: SL 調節ボタン] を押しと [11: サポートレッグ] を伸縮できますが、また伸ばさないでください。  
C [11: サポートレッグ] 先端を手で抑えながら、本体を起こす。



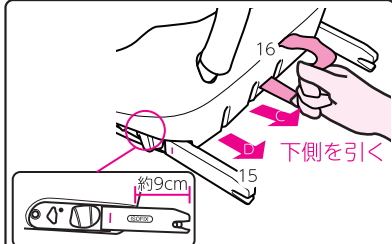
- [11: サポートレッグ] 操作時は、ベースとの隙間などで手、指などを挟まないように注意してください。 **思わぬ重傷を負う可能性があります。**
- [11: サポートレッグ] は本体から離れると固定されません。 自で動くので、[11: サポートレッグ] で手や指などを挟まないように注意してください。
- 本製品を移動する際には、[11: サポートレッグ] が動かないように抑えてください。

### 2 ISOFIXコネクタを差し込む

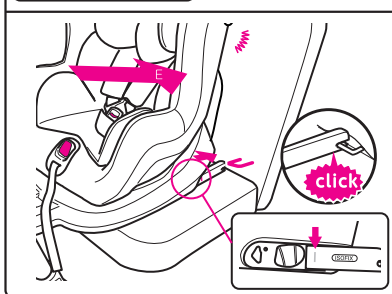
- A [23: 取付けガイド] を ISOFIX 取付け金具に取付ける。  
[ISOFIX 取付け金具が座席に隠れて見えない場合は [23: 取付けガイド] を使うことで取付けやすくなります。



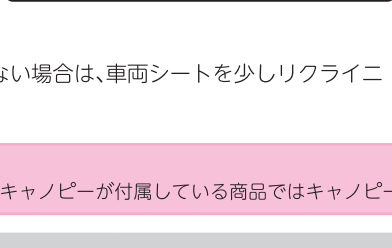
- 車両座席によって、[23: 取付けガイド] を取付けできない場合や必要ない場合は、[23: 取付けガイド] を使わずに取付けてください。
- B チェイルドシートを前向きに設定する。  
C [16: コネクタ引き出しストラップ] を引き止まるまでベルトの下側をやや強めに引き  
D 左右の [15: ISOFIX コネクタ] を最大限引き伸ばす。(左右運動します)



- E ISOFIX 取付け金具の位置を確認し、製品全体をゆっくりと押し込み、左右の [15: ISOFIX コネクタ] を ISOFIX 取付け金具に接続する。  
F 左右それぞれのコネクタから「カチッ」と音が聞こえるまでチェイルドシートを押し込み、左右の [17: ISOFIX 接続表示] が「赤色」から「緑色」に変わったことを確認する。



- G 製品を前後させ、[15: ISOFIX コネクタ] が伸縮しない(ロックされている)ことを確認する。  
※参照 ④

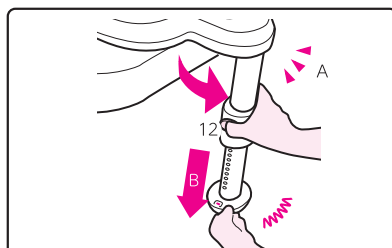


- ▲ [15: ISOFIX コネクタ] が縮んで接続がうまくいかない場合は再度、[16: コネクタを引き出しストラップ] 下側を引き、[15: ISOFIX コネクタ] を最大限引き伸ばしたあと [15: ISOFIX コネクタ] が縮まないように [18: コネクタ解除ボタン] を持ちながら、コネクタから「カチッ」と音が聞こえるまで [15: ISOFIX コネクタ] を押し込みます。

- ▲ [15: ISOFIX コネクタ] が ISOFIX 取付け金具に届かない場合は、車両シートを少しリクライニング(倒す)して調整してください。

### 3 サポートレッグを調節する

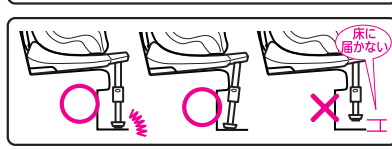
- A [11: サポートレッグ] がいちばん開いた状態で、調節する。  
B [11: サポートレッグ] の先端部を持ち、左右の [12: SL 調節ボタン] を押しながら、サポートレッグの先端が車両の床面に届くまでゆっくり伸ばす。



- ▲ [13: SL インジケータ] が「緑色」になっていることを確認してください。

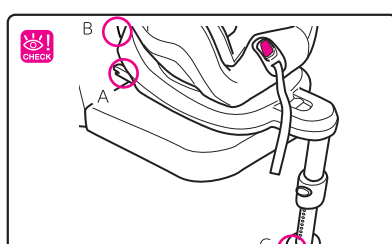
- ⌚ 長さが合わない場合はベース前方を少し持ち上げて、1段階長めに伸ばしてください。

- ▲ [11: サポートレッグ] が車両の床面から離れていないこと。衝突時の安全性に影響を与えるおそれがあります。

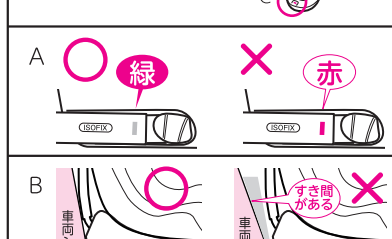


### 4 取付けを確認する

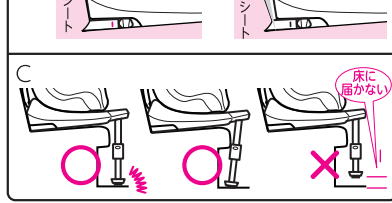
- 取付けが終わったら本製品がしっかりと固定されていることを確認します。しっかりと固定されていないと衝突などの際、充分性能を発揮できません。



- A 左右の [17: ISOFIX 接続表示] が「緑色」になっていることを確認する。



- B 車両シートの背もたれにベースが接していること。車両によっては、しっかり押し込んで完全に接しない場合があります。車両シートの背もたれがリクライニング出来る場合は出来るだけ隙間がない角度に調整してください。



- C [11: サポートレッグ] が車両の床面にしっかりと接していること。[13: SL インジケータ] が「緑色」に変わったことを確認する。



- ▲ A-C を確認し、しっかりと固定できていない場合は一旦取りはずし、もう一度 ISOFIX コネクタの差し込み操作 (A) からやり直してください。

### うまくいかない時は。

- ① ISOFIX 接続表示が緑色に変わらない。  
→ 車両の ISOFIX 取付け金具にしっかりと接続されていない可能性があります。ベースの前方を少し持ち上げる、または車両シートをリクライニングするなどして、差し込み角度を調整し、もう一度 [15: ISOFIX コネクタ] の差し込み操作をやり直してください。

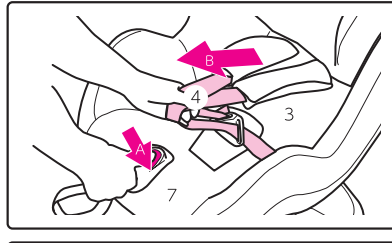
## 幼児ベルトの調整

※オプションのキャノピーが付属している商品ではキャノピーをはずして、高さ調節をおこなってください。

### 1 幼児ベルト調節の仕方

#### 幼児ベルトをゆるめる

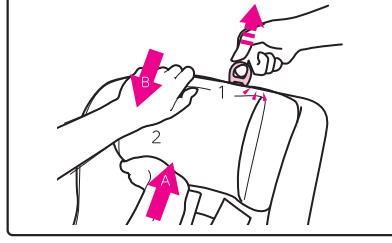
- A [7: アジャスタボタン] を押しながら、  
B 左右両方 (2本) の [4: 幼児ベルト] を同時に手前に引き出す。



- ⌚ [4: 幼児ベルト] をゆるめる際は [3: 肩ベルトカバー] を持って引っ張らないでください。

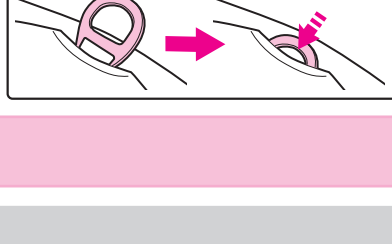
#### 幼児ベルトの高さ調整

- [2: ヘッドレスト] の高さを変更すると、連動して [4: 幼児ベルト] の高さが変わります。



- [1: ヘッドアジャスタ] を引いた状態を保ったまま [2: ヘッドレスト] を上または下へ動かす。

- ⌚ A 上げる場合は、[2: ヘッドレスト] の下から持ち上げ、  
B 下げる場合は、[2: ヘッドレスト] の上から引き下ろす要領で行います。



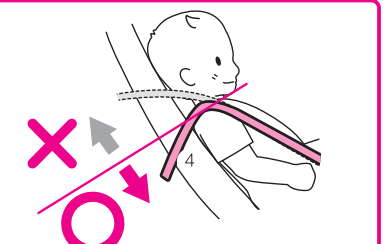
- ▲ 調整後は [1: ヘッドアジャスタ] を [2: ヘッドレスト] の中に押し込んで下さい。お子さまの頭を傷つける可能性があります。

### 2 幼児ベルト位置の目安

- ▲ ● 肩ベルトの位置は、取付け方向により適正な位置を選んで使用してください。  
● 工場出荷時は、一番下の位置にセットされています。

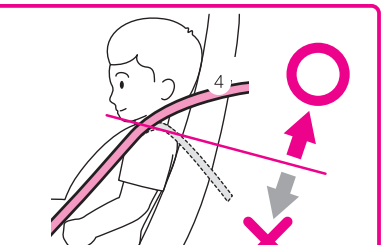
#### 45~87cm 後向き使用時

- お子さまの肩と同じ高さか、やや低めから [4: 幼児ベルト] が出る位置になるように [2: ヘッドレスト] 高さを調節する。



#### 76~105cm 前向き使用時

- お子さまの肩と同じ高さか、やや高めから [4: 幼児ベルト] が出る位置になるように [2: ヘッドレスト] 高さを調節する。



## お子さまの乗せ降ろし

### 1 乗せる準備をする

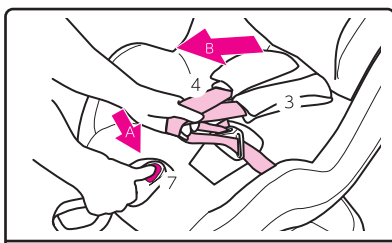
- お子さまの身長に合わせた使用条件 (前向き・後向き) を確認する。



- ▲ お子さまの月齢が 15 ヶ月までは後向きで使用してください。

- ▲ 横向きの状態では走行しないでください。

- ▲ 19kg を超えるお子さまにはご使用になれません。お子さまを乗せやすいシートを横向きにする。  
※裏面 ③参照



- A [7: アジャスタボタン] を押しながら、  
B 左右両方 (2本) の [4: 幼児ベルト] を同時に手前に引き出す。

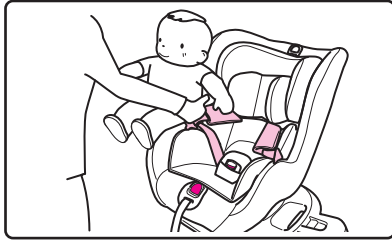
- ⌚ [3: 肩ベルトカバー] ではなく、[4: 幼児ベルト] を引いてください。

- C [6: バックル] の赤いボタンを押して [5: タング] をはずす。

- D [4: 幼児ベルト] を左右に開いてお子さまの座るスペースを確保する。  
※参照 ④

### 2 お子さまを座らせる

- [6: バックル] がお子さまの股の間に収まるようにして、お子さまをシートの奥深くに座らせる。

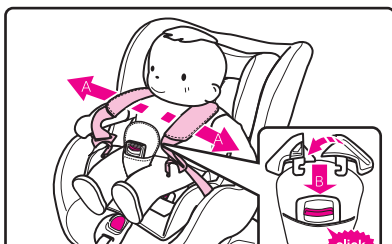


- ▲ 正座しないようにしてください。

- ▲ おしりとクッションの間にすき間ができないように深く座らせてください。

### 3 お子さまを拘束する

- A お子さまの腕を [4: 幼児ベルト] に通す。  
B 左右の [5: タング] を重ね合わせて、「カチッ」と音がするまで [4: 幼児ベルト] に差し込む。  
※参照 ⑥



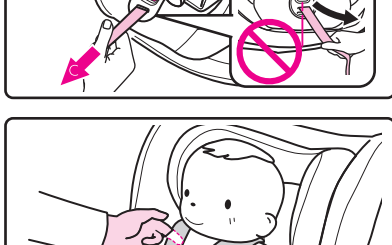
- ▲ [4: 幼児ベルト] がねじれている場合は、[5: タング] を反転させてください。

- C [4: 幼児ベルト] をお子さまの肩の中央と腰骨の出来るだけ低い位置にかけ、[8: アジャスタベルト] をまっすぐ手前に引き、左右の [4: 幼児ベルト] のたるみをなくし、お子さまに密着させる。  
※参照 ④



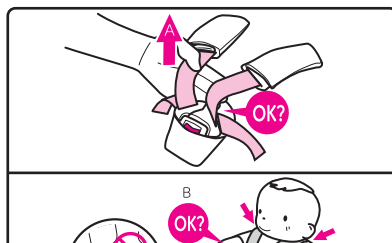
- ▲ [8: アジャスタベルト] を斜めに引くとベルトを傷め、お子さまをしっかりと拘束できなくなる可能性があります。

- ⌚ ● 幼児ベルトの調節のめやすとしては、お子さまの鎖骨と [4: 幼児ベルト] の間に指一本入る程度が適切です。ゆるかったり、きつかったりするときは、[4: 幼児ベルト] の長さを調節してください。



### 4 拘束ポイントを確認する

- A [4: 幼児ベルト] を引っ張って、[5: タング] や [4: 幼児ベルト] がゆるまないか確認する。



- B [4: 幼児ベルト] がねじれたりせずに、お子さまの肩の中央と腰骨の出来るだけ低い位置を通っているか確認する。



- C お子さまの身長に合わせた使用条件になるようにシートを回転させ、固定する。

- ▲ お子さまの月齢が 15 ヶ月までは後向きで使用してください。

- ▲ 横向きの状態では走行しないでください。

- ▲ 19kg を超えるお子さまにはご使用になれません。

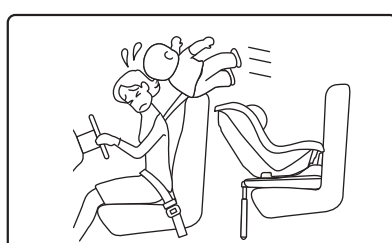
- お子さまは必ず正しく拘束してください。正しく拘束していないと衝突時に重大な傷害を負う可能性があります。

- バックルに異物が詰まったり、飲み物がかかると、ロックが確実にできなくなるなど故障の原因となります。

- お子さまの着席のたびに、必ずアジャスタベルトを引き、お子さまを拘束してください。

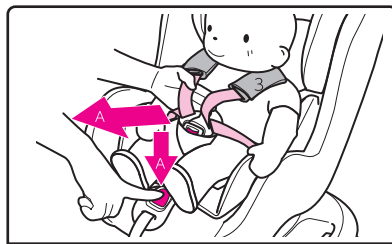
- かさばる服を着た状態で、本製品に座らせないでください。

- 幼児ベルトをはずして結ぶなど、本紙に記載のないやり方でお子さまを拘束しないでください。



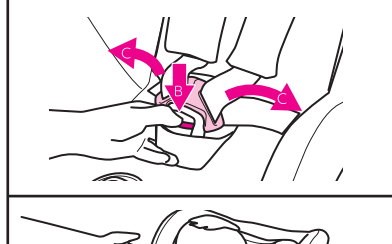
### 5 お子さまを降ろす

- A [7: アジャスタボタン] を押しながら、左右の [4: 幼児ベルト] を手前に引き、ゆるめる。

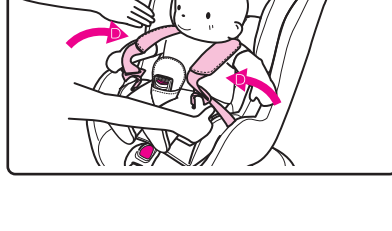


- ⌚ このとき、[3: 肩ベルトカバー] を引かないように注意してください。

- B [6: バックル] の赤いボタンを押して [5: タング] をはずす。



- C [4: 幼児ベルト] を左右に開く。

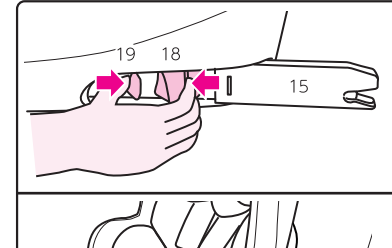


- D お子さまの腕を [4: 幼児ベルト] からはずし、お子さまをチャイルドシートから降ろす。

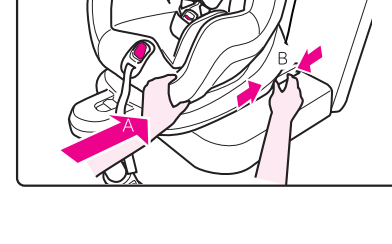
- ⌚ 緊急時に [6: バックル] の赤いボタンを押しても、[5: タング] がはずれない場合はシートベルトカッター (市販品) などでベルトを切断してお子さまを救出してください。

### 5 お車から取りはずす

- 取りはずしの際は片側ずつ操作してください。  
[19: コネクタ解除補助ボタン] に指をかけ [18: コネクタ解除ボタン] を引き、[15: ISOFIX コネクタ] を車両の ISOFIX 取付け金具の接続を解除する。解除した状態で、ベース (操作している側) を少し手前に引き、[15: ISOFIX コネクタ] を引き出す。  
大きく引き出すと反対側の操作がしにくくなります。



- ⌚ ● 本製品の解除が固い場合  
車両シートの反発力によって、コネクタ解除が固くなる場合があります。固い場合は下記の方法で片側ずつ解除してください。  
A 前方片側の端を持ち、本体を車両シートに押しつけながら、B 上記、ISOFIX コネクタ取りはずし操作を行ってください。  
車両シートがリクライニングできる場合は倒すと外しやすくなる場合があります。

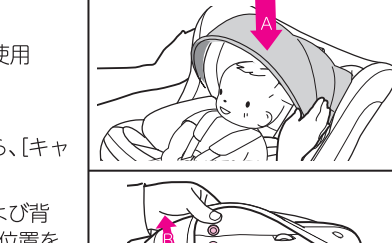


### 6 オプション(キャノピー)の使用法 ※商品によってはキャノピー形状が異なります。

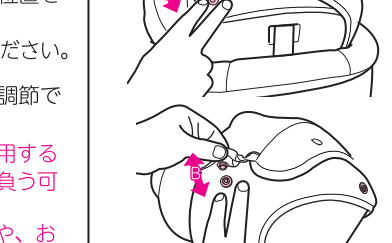
#### キャノピー取付けと使用方法

- 身長: 45~87cm (月齢が 15 ヶ月) までのお子さままでご使用いただけます。

- 取付け方  
A お子さまを乗せ [4: 幼児ベルト] の高さ調節をしてから、[キャノピー] を [2: ヘッドレスト] に被せる。

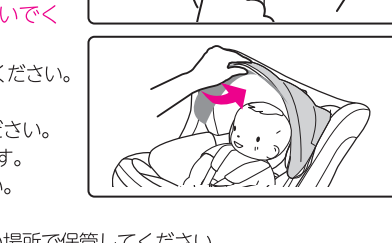


- B ヘッドレストカバー両サイドにあるホック 2カ所、および背面の 2カ所ホック位置とキャノピーの 4カ所のホック位置を合わせて、取付ける。



- 取りはずす際は強く引っ張らず丁寧にゆっくりははずしてください。

- C [キャノピー] の手前部分を内側に折り込むと、深さが調節できます。



- ▲ キャノピーは、後向き専用のパーツです。前向きで使用すると衝突時に本来の性能を発揮できず重大な害を負う可能性があります。

- ▲ キャノピーは、お子さまの身長が 87cm を超えた場合や、お子さまの手が届いたり身体に触れる場合は、使用しないでください。

- ▲ ● 本製品を持ち運ぶ際は、キャノピー部分を持たないでください。  
● キャノピーの上部に、ものを載せないでください。  
● キャノピーに、おもちゃなどを取付けて使用しないでください。  
急ブレーキや衝突時にお子さまに当たるおそれがあります。

- キャノピーを洗濯する際、洗濯機は使用しないでください。  
(②洗濯と日常のお手入れ 参照)

- キャノピーを取りはずす際は、お子さまの手が届かない場所で保管してください。

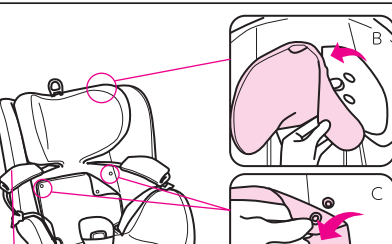
- 芯材が曲がるなどにより変形した場合は、使用しないでください。  
● 破損や破れが生じた場合は、使用しないでください。芯材が露出し危険です。  
● 本製品以外での使用や、本来の目的以外の使用はしないでください。

## メンテナンス

### 1 カバーを取りはずす 注意: 肩ベルトカバーははずさないでください。

- ⌚ 最初の留め位置を覚えておいてください。商品により、留め方が異なります。

- A リクライニング角度を一番立った状態 (ポジション 4) にし、[4: 幼児ベルト] をゆるめ、[6: バックル] から [5: タング] をはずす。

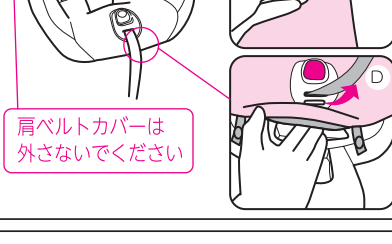


- B ヘッドレストカバーを上部から外周をめくるとははずす。

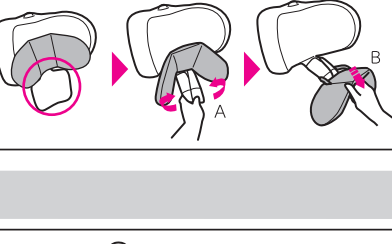
- C シートカバーの左右のホックをはずす。

- D 座面下のホック 2カ所をはずし、シートカバーを取りはずす。

- ⌚ 商品により、シートカバーの下にクッション類があります。

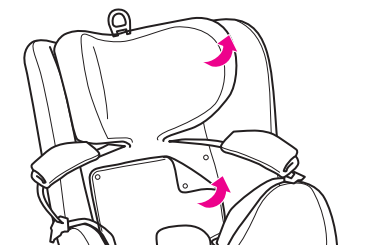


- [22: インナーパッド] (ヘッドクッション) のはずし方  
A ヘッドレストカバーの下部を束ねる。  
B ヘッドクッションを下に引き抜く。



### 2 カバーを取付ける

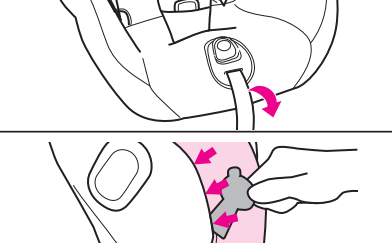
- A リクライニング角度を一番立った状態 (ポジション 4) にする。



- B シートカバーを上記「カバーを取りはずす」手順の順番で設置する。

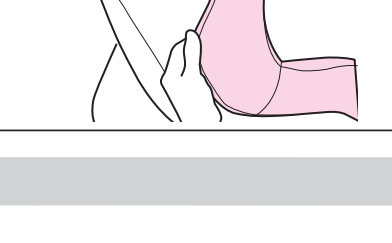
- C 付属の [24: シートカバー押し込み用へら] を使って、シートカバーの縁を本体プラスチック内側に押し込む。

- へらでカバーを無理に押し込まないでください。生地が破損する場合があります。シートカバーを押し込むときは全体から少しずつ押し込んでください。



- ▲ シートカバーはチャイルドシートの安全面において重要な役割を果たします。[20: リバウンドバー] のカバーを取付けられない状態で使用しないでください。やけどの原因になります。シートカバーをはずしての使用、または専用カバー以外での使用はしないでください。(衝突時の安全性に影響を与えるおそれがあります。)

- ▲ [24: シートカバー押し込み用へら] はお子さまの手が届かないところに保管してください。



### 3 洗濯と日常のお手入れ

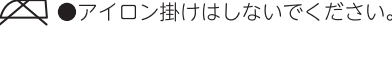
#### シートカバーなどの縫製品の洗い方

- シートカバーは取りはずしが可能で、30 度の水温で洗濯できます。洗濯後は必ず乾燥させてください。

- ⌚ ● 中性洗剤を使用し、水またはぬるま湯で押し洗いしてください。



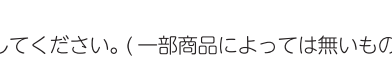
- ⊗ ● 塩素系漂白剤は使用しないでください。



- ⊗ ● 洗濯後は、脱水機、乾燥機はさけ、タオルなどで押し絞り、風通しのよい日かげに干してください。



- ⊗ ● ドライクリーニングはしないでください。



#### 日常のお手入れ方法

- 取りはずしできるクッション類は取りはずしてから洗濯してください。(一部商品によっては無いものがあります。)

- 樹脂部やクッション類は水で濡らして固く絞ったタオルや乾いたタオルなどで拭いてください。

- 掃除機などで、ほこりやごみを取ってください。

- 飲み物など、しみの残りやすいものをこぼしたときは、乾かないうちに拭き取ってください。

- 部品のお取り寄せは、型式と品番を確認の上、購入店、取扱代理店またはメーカーまでご連絡ください。

- ▲ [4: 幼児ベルト] の取りはずしはできません。また、[3: 肩ベルトカバー] ははずさないでください。

- ▲ 中性洗剤を原液で使用したり、ガソリン、ベンジンなどの有機溶剤は使用しないでください。本体、表面の生地、ベルト類をいためるおそれがあり危険です。

### 4 保管/廃棄の仕方/製品仕様

#### 保管

- 製品本体を長期間使用しない場合は、車から降ろし、お子さまの手が届かない、風通しのよい場所で直射日光を避けて保管してください。

#### 廃棄

- お住まいの各自自治体の規定にしたがって処分、廃棄してください。

- 衝突事故や製品を落下させるなど、一度でも強い衝撃を受けたチャイルドシートは、外観に破損がなくても絶対に使用しないでください。処分する場合は、本製品が再利用されないようシートカバーなどははずして、廃棄してください。

#### 製品仕様

- 製品サイズ W440×D660×H630mm (サポートレッグを除く)  
材質 本体...PP、ウレタン  
シートカバー...表/ポリエステル 裏/ウレタン